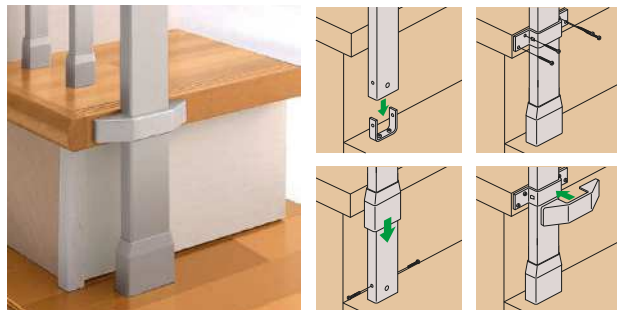


階段部各部の納まり

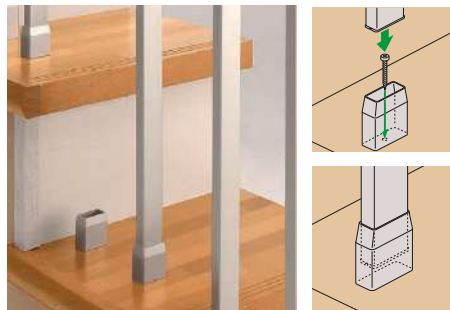
■ 親支柱の納まり (階段部)

階段用親支柱は、踏板木口と踏板面の 2 箇所所で固定します。



■ 子支柱の納まり (縦棧タイプ)

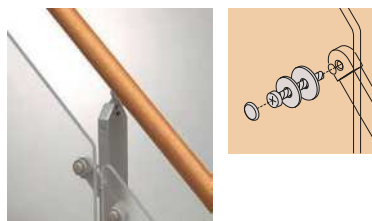
子支柱は、踏板面に取付けた下カバーに差し込みます。



■ 親支柱の納まり (パネルタイプ)

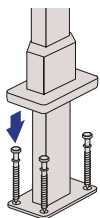
パネルは、金具を介して親支柱に固定します。

○丸棒手摺使用例

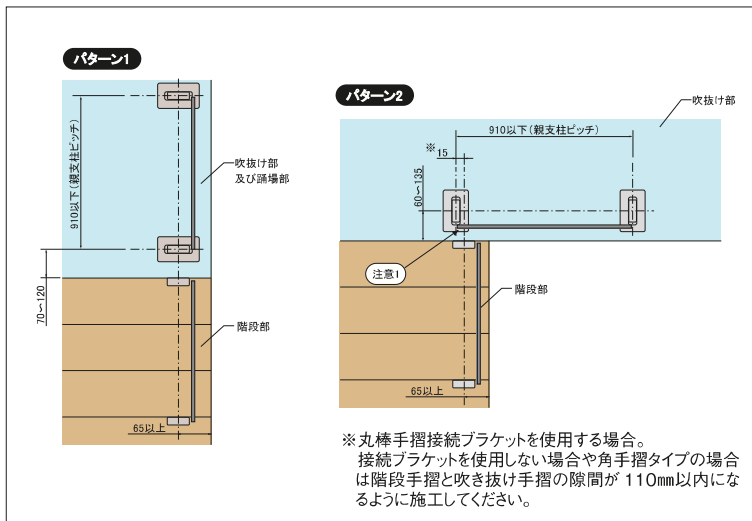


■ 親支柱の納まり (吹抜け部)

吹抜け用親支柱は、床に固定します。



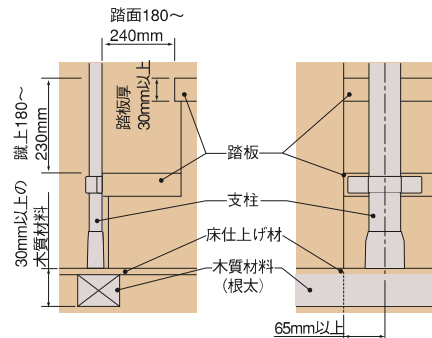
■ 吹抜け手摺 支柱の取り付け位置



採用に関するご注意

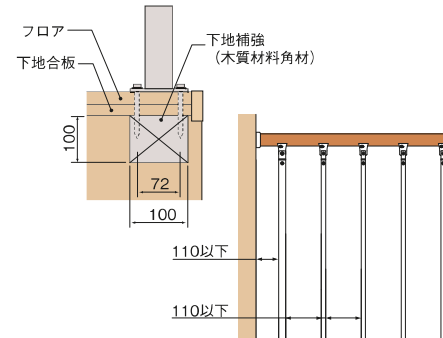
■ 階段用部材

- 廊下、踊り場、吹抜け部などの水平部には取付けできません。
- 支柱を取付ける部分には 30mm 以上の木質材料が必要となります。
- 階段踏板端より支柱センターまで 65mm 以上必要です。
- 階段踏板的段鼻がアール形状の階段には取付けできません。
- 階段有効巾、750mm を確保してください。



■ 吹抜け (踊り場) 用部材

- 階段部には取付けできません。
- 支柱下部には木質下地補強をすること。
- 親支柱の取付ピッチは 910mm 以下のこと。
- 支柱間の内々寸法は 110mm 以下のこと。(縦棧タイプ)
- 支柱壁の内々寸法は 110mm 以下のこと。



■ 使用上のご注意

- 故意に頻繁にゆすったり、過度の衝撃を加えないでください。固定部分が緩み、破損、脱落を起こすことがあります。
- 手摺が上がったり、ぶら下がったりしないでください。
- 汚れが付いた場合は、乾拭きまたは中性洗剤を薄めて、雑巾を固く絞って拭いてください。
- シンナー、ベンジン等を使用すると表面の艶がなくなったり変色する場合があります。使用しないでください。